

令和7年度 食に関する指導の全体計画

長崎県立島原特別支援学校

【児童生徒の実態】 朝食を毎日食べる児童生徒 92% 肥満傾向児童生徒 20 % 栄養不良(やせ)傾向児童生徒 5 % 【保護者の実態・願い】 ・食育に関心がある 65% ・楽しく食事ができるように なってほしい 74% ・よくかんで食べることが できるようにしてほしい 58% ・好き嫌いせずに食べてほしい 56%	校 訓 <table><tr><td colspan="2">《小・中学部》</td><td colspan="2">《高等部》</td></tr><tr><td>にこにこ</td><td>げんきな</td><td>子ども</td><td>健 康</td></tr><tr><td>のびのび</td><td>なかよし</td><td>子ども</td><td>協 力</td></tr><tr><td>こつこつ</td><td>がんばる</td><td>子ども</td><td>自 立</td></tr></table> 学校教育目標 基本的人権の尊重と教育の機会均等の精神に基づき、児童生徒一人一人の教育的ニーズに合わせて、個々の障害の状態・特性・能力・発達段階等に応じた適切な指導を行うことにより、可能な限りその個性や能力を伸ばし、自己のもてる力を精一杯発揮しながら、社会の一員としてより良く生活するために必要な「生きる力」を育む。	《小・中学部》		《高等部》		にこにこ	げんきな	子ども	健 康	のびのび	なかよし	子ども	協 力	こつこつ	がんばる	子ども	自 立	【第4次食育推進基本計画】 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合 目標50%以上 【第4次長崎県食育推進計画】 児童生徒の朝食摂取率 100% 【長崎県学校保健統計調査】 知的特別支援学校の肥満の割合 13.4% 知的特別支援学校の栄養不良(やせ)の割合 0.5%
《小・中学部》		《高等部》																
にこにこ	げんきな	子ども	健 康															
のびのび	なかよし	子ども	協 力															
こつこつ	がんばる	子ども	自 立															

食育の視点 ○ 食事の重要性 ○ 心身の健康 ○ 食品を選択する能力 ○ 感謝の心 ○ 社会性 ○ 食文化	食に関する指導の目標：重点とする食育の視点【食事の重要性】 【知識及び技能】 ○ 食事が生きていく上で欠かせないものであることや、食事の喜び、楽しさを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○ 自分の食生活を見つめ、健全な食生活を実現するために何が必要か考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○ 食事に興味・関心をもち、栄養バランスに配慮した規則正しい食生活を実現しようとする態度を養う。
---	---

入 学 前	幼稚園・保育所 幼保連携型 認定こども園	→	各学年の食に関する指導の目標				→	卒 業 後	進 学	
	小 学 校 中 学 校		小学部		中学部				高等部	
			低 学 年	・食べることに興味、関心をもつ	・バランスの良い食事の大切 さを知り、好き嫌いなく食 べる	・自らの健康を保持増進しよ うとし、望ましい食事の仕 方や生活習慣を理解できる				
				・好き嫌いなく食べる						
自 宅 事業所等	中 学 年	・食べ物に興味、関心をもち、好き 嫌いなく食べる	・食事の基本的なマナーを身 に付け、その場にふさわし い行動をとることができる	・毎日の食事に興味、関心を もち、食環境と自分の食生 活との関わりを理解できる						
		・いろいろな食べ物の名前が分か る								
	高 学 年	・食事のマナーを知る	・食に関わる様々な人達に 感謝する気持ちをもつ	・食事を通して、より良い人間 関係を構築できるよう工夫 することができる						
基本的な生活習慣を 身に付け、豊かな心 と健やかな体で自 立した生活を送る	B 課 程	・楽しく、安全に食事をする	・食べることに興味、関心をもつ	・いろいろな食感や味覚を経験する	・自分に合った正しい姿勢で食べる	・自分に合った食形態で食事をする	・自分に合った食器具を使って食事をする	基本的な生活習慣を身に 付け、豊かな心と健やか な体で自立した生活を送る		